第８回 臨時社員総会資料

一般社団法人日本医療薬学会

日 時 ： 平成 28 年 9 月 18 日（日） 8 時 30 分～9 時 10 分
場 所 ： 国立京都国際会館 第 2 会場（Room A）

第８回 臨時社員総会　次第

１．会頭挨拶

２．成立確認

３．議事録署名人の指名

４．協議事項

第一号議案　平成 29 年度事業計画案　１ページ

第二号議案　平成 29 年度予算案　９ページ

第三号議案　名誉会員の委嘱　１５ページ

５．報告事項

平成 29，30 年度 代議員選挙公示　１７ページ

協議事項　第１号議案

平成 29 年度 事業計画案

自　平成 29 年 1 月　1 日
至　平成 29 年 12 月 31 日

平成29年度 事業計画案

本学会は、設立後26年目となり第2四半世紀を迎えた。昨年は初めて年会の会期を3日間に拡大して開催した結果、参加者数が9,000人を超えた。また、本年8月には正会員数が11,000人を超えるなど盛況を呈している。本年3月末より新役員体制となり、本学会の目的である「医療薬学に関する学理及びその応用についての研究発表、知識の交換、会員相互及び内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、医療薬学の進歩及び普及を図り、もって我が国の学術文化の発展と国民の福祉の向上に寄与する」ということに沿い、医療薬学領域での最大規模を誇る学術団体として、会員・薬学関係者らの期待に応えるべく、その重責を担った学会活動を遂行するために、平成29年度の事業計画として下記の事項を取り上げる。

平成29年度から新たな3つの事業を開始することとし、① サイエンス研究活動を推進させるための小委員会及びそれを統括する医療薬学学術委員会を設置する、② 大学教員及び学生を主体としたフレッシャーズ・カンファランス（仮称）を開催する、③ 臨床研究活動を行うための実践的なレクチャーを行うセミナーを開催する。また、本学会の出版図書「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」の改訂に取り組む。

多くの参加者が見込まれる年会のプログラムに、本学会の委員会が企画するシンポジウムの組入れを強化し、本学会の活動意図が直接伝わる形のものを提供する予定である。今後、会員の資質向上に一層の方策を講ずる。

1．年会開催

第27回日本医療薬学会年会

年会長　　大森　栄（信州大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

開催日程　平成29年11月3日（金・祝日）　～ 5日（日）

開催地　　千葉市　幕張メッセほか

2．医療薬学公開シンポジウム開催

第65回～68回医療薬学公開シンポジウムを開催予定　（開催地未定）

3．医療薬学発行

第43巻1号～12号を発行

4．JPHCS（英文誌）発行

オンラインジャーナルとして随時発行

5．会議開催

1　第9回定時社員総会　日本薬学会第137年会時に開催予定
（平成29年3月下旬　仙台市）

2　第9回臨時社員総会　第27回日本医療薬学会年会 会期中に開催予定

3　定例理事会　年間6回開催予定

6．各委員会活動

(1) 総務委員会

1　学会の組織基盤の強化を図る。

2　諸規定の整備・管理、契約の締結を進める。

3　事務局勤務評定の導入を検討する。

4　その他、会の円滑な運営に必要な事項を検討する。

(2) 財務委員会

1　本学会の資産を適切に管理する。

2　予算の執行状況を定期的に確認する。

3　歳出・歳入の適切性について監視する。

4　年会会計を適切に監督・管理する。

5　平成28年度決算報告書を作成する。

6　平成30年度予算案を公益法人会計基準に則って作成する。

7　学会運営における財務改革について提言する。

(3) 広報委員会

1　会員の他、薬学研究者、医療関係者、一般人、薬学生等へホームページを通して情報を提供するとともに、随時、ホームページの更新・改訂により最新情報を掲載する。

2　ホームページ及び電子メール等を通じた情報発信システムを利用して会員へ新たな企画などを提供する。

3　薬学部学生や大学院生、非会員薬剤師等の加入勧誘を目的とした学会紹介パンフレットの発行、配布を行う。

4　国際交流委員会と協力して、英文ホームページを作成し、学会活動、日本の薬剤師の活動、さらに医療薬学研究等を海外に発信する。

(4) 企画・シンポジウム委員会

1　公開シンポジウムの依頼テーマを協議・決定する。

2　公開シンポジウムの開催地、実行委員長を決定する。

3　公開シンポジウム運営への助言、支援を行う。

4　学生を主体とした新規シンポジウムの開催に向けて、WG や他委員会を支援する。

5　フレッシャーズ・カンファランス（仮称）を開催する。

6　本学会が企画するプログラムを年会長に進言する。

(5) 会員委員会

1　正会員・学生会員の増加を目指す。

2　会員管理システムの利便性を向上させる。

3　会費の徴収率を高める方策を検討する。

(6) 医療薬学編集委員会

1　論文投稿を受け付け、審査を迅速かつ適切に実施し、採否を決定する。

2　「医療薬学」第 43 巻 1 ～12 号の掲載論文を決定し発行する。

3　投稿論文ならびに掲載論文の増加および学術論文としての質の維持・向上を図る。

(7) JPHCS 編集委員会

1　投稿論文を受け付け、審査を迅速かつ適切に実施し、採否を決定する。

2　年間 30 報程度の掲載論文と数報の依頼総説を決定し、公表する。

3　論文の投稿、審査、掲載等に係る諸問題に対し適宜検討し、学術論文としての質の維持・向上を図る。

4　BioMed Central と連携しながら、Impact Factor 取得に向けての方策を検討する。

(8) 専門薬剤師育成委員会

1　薬物療法専門薬剤師制度の再構築について検討する。

① 保険薬局薬剤師、大学教員が取得できる新規制度

② 他学会との連携も視野に入れたサブスペシャリティーの導入

2　薬物療法専門薬剤師制度を広告可能なものとするための方策等について検討する。

3　がん専門薬剤師及び薬物療法専門薬剤師を対象とする海外研修員を選考する。

(9) 認定薬剤師認定制度委員会

1　認定薬剤師、指導薬剤師の認定・委嘱審査と認定試験を実施する。

2　研修施設の認定審査を実施する。

3　認定資格更新の審査を実施する。

4　研修施設の認定基準について検討する。（平成 28 年度に決定していない場合）

5　下部組織の小委員会を統括する。

① 薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験実行小委員会

試験システムの改訂に準じた試験問題の作成とブラッシュアップを行い、認定試験を実施する。

② 薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験問題作成小委員会

マークシート方式の試験に適した候補問題を作成する。

（10）がん専門薬剤師認定制度委員会

1　がん専門薬剤師、がん指導薬剤師、がん専門薬剤師研修施設の新規認定及び更新審査を実施する。

2　がん専門薬剤師及びがん専門薬剤師を目指す会員に対する研修会を実施する。

① 日病薬との共催で実施する座学の集合研修（年 4 回）

② がん専門薬剤師の有資格者を対象とした症例検討を主とする第 5 回アドバンスト研修会（年 1 回）

③ がん専門薬剤師の有資格者が一堂に会し、各地で活躍するがん専門薬剤師の活動状況、資格取得後の在り方などについて議論するがん専門薬剤師のネットワークを利用した第 5 回がん専門薬剤師全体会議（年 1 回）

④ がん専門薬剤師を目指す会員を対象としたがん専門薬剤師申請のための症例サマリ書き方セミナー（年 2 回、うち 1 回は年会シンポジウムエントリを含む）

3　がん専門薬剤師認定試験問題作成と認定試験を実施する。

4　がん専門薬剤師及び薬物療法専門薬剤師を対象とする海外研修員の選考に協力する。

5　がん領域の他学会とのコラボレーション企画を推進する。

（11）薬物療法専門薬剤師認定制度委員会

1　薬物療法専門薬剤師の新規認定申請者の審査を実施する。

2　薬物療法専門薬剤師の更新認定申請者の審査を実施する。

3　薬物療法指導薬剤師および薬物療法専門薬剤師研修施設の新規認定者・施設の審査を実施する。

4　がん専門薬剤師及び薬物療法専門薬剤師を対象とする海外研修員の選考に協力する。

5　薬物療法専門薬剤師認定制度規程を改正する。

（更新条件や暫定措置の見直しを検討する）

6　下部組織の薬物療法専門薬剤師研修小委員会において、以下の事項を実施する。

① 薬物療法専門薬剤師の集中講義開催（6 月、10 月頃開催予定）

② 薬物療法専門薬剤師研修ガイドラインの作成

③ 薬物療法専門薬剤師の育成と全国に向けた情報発信

・医療薬学会年会でのシンポジウム開催

・単位認定講習会・教育セミナーの拡充

(12) 学会賞選考委員会

1　功績賞の選考規程に基づき、功績賞受賞候補者を選考する。

2　学術貢献賞・奨励賞等選考委員会を開催し、学術貢献賞、奨励賞及び Postdoctoral Award の各選考規程に基づき、各賞受賞候補者を選考する。

3　論文賞選考委員会を開催し、論文賞選考規程に基づき、論文賞受賞候補論文を選考する。

4　各学会賞の位置付けを整理し、表彰制度を再構築するための検討を行う。

(13) 医療薬学教育委員会

1　薬系大学と現場薬剤師の連携による臨床研究を推進する。

2　現場薬剤師が社会人大学院に入学し研究活動を実施するための支援を行う。

3　上記1.および2.の具体策として、臨床研究活動を実践するための教育的なセミナーを開催する。

(14) 出版委員会

出版図書「病態を理解して組み立てる 薬剤師のための疾患別薬物療法」の改訂作業を進める。

(15) 国際交流委員会

1　海外の医療薬学関連学会と交流を図る。

2　東アジア・東南アジア諸国による国際医療薬学シンポジウムを、日本医療薬学会年会のシンポジウムとして開催し、薬学教育・研究・医療業務に関する情報交換を行う。

3　海外における薬剤師の活動に関する情報を会員へ提供するとともに、会員の国際化へ向けた意識向上を図る。

4　広報委員会と協力して英文ホームページを作成し、学会活動、日本の薬剤師の活動、さらに医療薬学研究等を海外に発信する。

(16) 利益相反マネジメント委員会

1　利益相反の申告対象者の利益相反状態を確認する。

2　申告書類の保管管理を行う。

（17）医療薬学学術委員会

1　学術活動の活性化に繋がる活動を推進する。

2　小委員会を編成し統括する。

協議事項　第２号議案

平成 29 年度 予算案

自　平成 29 年 1 月　1 日
至　平成 29 年 12 月 31 日

平成29年度　収支状況表 （予算案）

平成29年1月1日から　平成29年12月31日まで

	決算書の場合 項目　　科目※	H27年度 実績額	H28年度予算 予算額	H29年度予算 予算額	H28年、H29年の 予算額差異
	経常収益				
1	受取会費	103,944,000	98,600,000	108,080,000	9,480,000
2	正会員受取会費	102,519,000	96,900,000	106,400,000	9,500,000
3	学生会員受取会費	785,000	1,000,000	1,000,000	–
4	賛助会員受取会費	640,000	700,000	680,000	▲ 20,000
5	年会事業収益	156,184,384	150,336,200	152,165,595	1,829,395
6	受取参加料	101,491,000	96,030,000	98,200,000	2,170,000
7	受取広告料	1,936,000	1,987,200	1,936,000	▲ 51,200
8	受取補助金等	500,000	500,000	500,000	–
9	受取負担金	43,563,000	43,648,000	43,359,595	▲ 288,405
10	受取寄付金	8,500,000	8,000,000	8,000,000	–
11	雑収益	194,384	171,000	170,000	▲ 1,000
12	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ事業収益	119,563	200,000	200,000	–
13	受取参加料	119,500	200,000	200,000	–
14	雑収益	63			–
15	会誌発行事業収益	12,655,615	10,350,000	9,845,000	▲ 505,000
16	受取広告料	2,747,520	2,150,000	3,000,000	850,000
17	受取投稿掲載料	5,427,294	5,300,000	5,199,000	▲ 101,000
18	雑収益	4,480,801	2,900,000	1,646,000	▲ 1,254,000
19	認定事業収益	5,799,600	5,582,500	12,532,000	6,949,500
20	受取審査認定指定料	5,799,600	5,582,500	8,532,000	2,949,500
21	受取受託料			4,000,000	4,000,000
22	薬物療法専門事業収益	8,434,800	9,713,000	9,774,000	61,000
23	受取参加料	8,002,800	9,240,000	9,072,000	▲ 168,000
24	受取審査認定指定料	432,000	473,000	702,000	229,000
25	がん専門事業収益	30,754,730	30,185,000	29,794,000	▲ 391,000
26	受取参加料	21,383,650	21,110,000	21,550,000	440,000
27	受取審査認定指定料	4,860,000	5,775,000	4,644,000	▲ 1,131,000
28	受取広告料	1,010,000	300,000	600,000	300,000
29	受取負担金	3,500,000	3,000,000	3,000,000	–
30	雑収益	1,080			–
31	海外研修事業収益	2,088,583	1,500,000	1,500,000	–
32	受取寄付金	2,088,583	1,500,000	1,500,000	–
33	出版事業収益 雑収益	50,272	–		–
34	医療薬学教育委員会			810,000	810,000
35	受取参加料			810,000	810,000
36	(仮)大学教員・学生によるｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑWG			359,000	359,000
37	受取参加料			359,000	359,000
38	その他収益　雑収益	579,054	20,000	38,000	18,000
39	収益合計	320,610,601	306,486,700	325,097,595	18,610,895

平成29年度　収支状況表 （予算案）

平成29年1月1日から　平成29年12月31日まで

	決算書の場合 項目　　科目※	H27年度 実績額	H28年度予算 予算額	H29年度予算 予算額	H28年、H29年の 予算額差異
	経常費用				
40	年会事業費	151,073,005	150,336,200	151,441,188	1,104,988
41	会議費	9,474,374	9,102,200	9,864,500	762,300
42	旅費交通費	3,205,913	9,601,200	3,700,000	▲ 5,901,200
43	通信運搬費	4,764,232	980,080	4,643,500	3,663,420
44	消耗什器備品費	13,320,000	10,321,280	11,213,928	892,648
45	消耗品費	4,097,845	2,248,320	3,828,550	1,580,230
46	印刷製本費	12,010,140	13,356,420	12,113,100	▲ 1,243,320
47	賃借料	60,808,392	60,267,480	58,646,198	▲ 1,621,282
48	諸謝金	4,273,301	10,205,018	4,543,896	▲ 5,661,122
49	租税公課	3,536,700	5,481,272	5,084,166	▲ 397,106
50	委託費	30,701,835	25,708,010	33,155,150	7,447,140
51	支払手数料	3,161,215	2,011,920	3,262,200	1,250,280
52	雑費	1,719,058	1,053,000	1,386,000	333,000
53	ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ事業費	1,373,054	1,400,000	1,832,000	432,000
54	会議費	55,219	80,000	50,000	▲ 30,000
55	旅費交通費	366,120	270,000	270,000	–
56	通信運搬費	9,608	5,000	10,000	5,000
57	消耗什器備品費	16,200			–
58	消耗品費	85,130	20,000	40,000	20,000
59	印刷製本費	54,120	80,000	80,000	–
60	賃借料	126,650	200,000	200,000	–
61	諸謝金	595,067	700,000	700,000	–
62	支払広告料			432,000	432,000
63	支払手数料	31,696	45,000	50,000	5,000
64	雑費	33,244			–
65	会誌発行事業費	41,949,593	35,210,000	35,935,000	725,000
66	会議費	34,290	60,000	35,000	▲ 25,000
67	旅費交通費	579,200	1,050,000	1,100,000	50,000
68	通信運搬費	7,564,076	7,800,000	8,400,000	600,000
69	消耗品費	5,587		10,000	10,000
70	印刷製本費	33,442,440	25,800,000	25,500,000	▲ 300,000
71	委託費	324,000	500,000	500,000	–
72	支払広告料			390,000	390,000
73	JPHCS発行事業費	401,888	3,265,000	3,900,000	635,000
74	会議費	32,508	20,000	20,000	–
75	旅費交通費	369,380	430,000	540,000	110,000
76	委託費		2,805,000	3,330,000	525,000
77	支払手数料		10,000	10,000	–
78	認定事業費	2,845,435	3,275,000	8,780,000	5,505,000
79	会議費	52,314	110,000	150,000	40,000
80	旅費交通費	1,828,360	2,250,000	3,540,000	1,290,000
81	通信運搬費	126,257	275,000	275,000	–
82	消耗品費	15,162	10,000	20,000	10,000
83	印刷製本費	57,088	170,000	170,000	–
84	図書購入費		60,000	60,000	–
85	賃借料	219,672	250,000	250,000	–
86	諸謝金	546,582	150,000	315,000	165,000
87	雑費			4,000,000	4,000,000
88	薬物療法専門事業費	6,972,727	7,099,000	8,195,000	1,096,000
89	会議費	151,913	130,000	170,000	40,000
90	旅費交通費	3,608,000	2,550,000	3,280,000	730,000
91	通信運搬費	12,766	20,000	20,000	–
92	消耗品費	18,498	10,000	20,000	10,000
93	印刷製本費	1,004,100	1,304,000	1,130,000	▲ 174,000
94	賃借料	751,872	1,200,000	1,700,000	500,000
95	諸謝金	1,360,860	1,800,000	1,800,000	–
96	委託費	35,640	55,000	45,000	▲ 10,000
97	支払手数料	29,078	30,000	30,000	–

平成29年度 収支状況表 （予算案）

平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで

	決算書の場合 項目　　科目※	H27年度 実績額	H28年度予算 予算額	H29年度予算 予算額	H28年、H29年の 予算額差異
98	がん専門事業費	21,817,221	26,885,000	26,480,000	▲ 405,000
99	会議費	1,250,785	1,460,000	1,450,000	▲ 10,000
100	旅費交通費	3,807,155	9,770,000	7,000,000	▲ 2,770,000
101	通信運搬費	223,409	250,000	250,000	–
102	消耗品費	31,699	1,200,000	1,200,000	–
103	印刷製本費	1,448,376	2,250,000	2,670,000	420,000
104	図書購入費	118,044	30,000	50,000	20,000
105	賃借料	3,033,741	4,200,000	5,650,000	1,450,000
106	諸謝金	3,398,078	4,000,000	3,700,000	▲ 300,000
107	委託費	8,428,120	3,510,000	4,370,000	860,000
108	支払手数料	24,594	115,000	40,000	▲ 75,000
109	雑費	53,220	100,000	100,000	–
110	海外研修事業	2,313,175	2,430,000	3,050,000	620,000
111	旅費交通費	1,303,290	1,400,000	1,500,000	100,000
112	委託費	726,960	750,000	1,250,000	500,000
113	支払手数料	89,200	80,000	100,000	20,000
114	雑費	193,725	200,000	200,000	–
115	出版事業費	–	380,000	1,770,000	1,390,000
116	会議費		20,000	50,000	30,000
117	旅費交通費		360,000	720,000	360,000
118	支払負担金			1,000,000	1,000,000
119	専門薬剤師育成委員会	1,002,652	2,030,000	2,171,000	141,000
120	会議費	17,464	50,000	90,000	40,000
121	旅費交通費	985,188	1,980,000	2,081,000	101,000
122	論文賞選考委員会	454,012	380,000	395,000	15,000
123	会議費	11,952	10,000	10,000	–
124	旅費交通費	282,180	180,000	180,000	–
125	通信運搬費	6,700		15,000	
126	雑費	153,180	190,000	190,000	–
127	学術賞等選考委員会	1,411,946	1,430,000	1,695,000	265,000
128	会議費	8,100	20,000	20,000	–
129	旅費交通費	770,940	840,000	1,040,000	200,000
130	通信運搬費	20,034		15,000	
131	雑費	612,872	570,000	620,000	50,000
132	医療薬学教育委員会	97,330	610,000	2,460,000	1,850,000
133	会議費	6,750	20,000	50,000	30,000
134	旅費交通費	90,580	590,000	1,400,000	810,000
135	印刷製本費			100,000	100,000
136	賃借料			550,000	550,000
137	諸謝金			350,000	350,000
138	雑費			10,000	10,000
139	国際交流委員会	536,980	1,520,000	1,810,000	290,000
140	会議費	8,100	80,000	30,000	▲ 50,000
141	旅費交通費	528,880	1,362,000	1,700,000	338,000
142	諸謝金		60,000	60,000	–
143	雑費		18,000	20,000	2,000
144	広報委員会	1,378,292	1,680,000	2,570,000	890,000
145	会議費	36,492	50,000	50,000	–
146	旅費交通費	551,620	830,000	1,020,000	190,000
147	通信運搬費	3,832			
148	印刷製本費	784,080	300,000	500,000	200,000
149	委託費		500,000	1,000,000	500,000
150	雑費	2,268			
151	会員委員会	63,028	50,000	60,000	10,000
152	会議費	26,028	10,000	10,000	–
153	旅費交通費	37,000	40,000	50,000	10,000

平成29年度　収支状況表 （予算案）

平成29年1月1日から　平成29年12月31日まで

	決算書の場合 項目　　科目※	H27年度 実績額	H28年度予算 予算額	H29年度予算 予算額	H28年、H29年の 予算額差異
154	利益相反マネジメント委員会	–	55,000	90,000	35,000
155	会議費		10,000	10,000	–
156	旅費交通費		45,000	80,000	35,000
157	(仮)学術小委員会			470,000	470,000
158	会議費			50,000	50,000
159	旅費交通費			420,000	420,000
160	(仮)大学教員・学生によるｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑWG			795,000	795,000
161	会議費			30,000	30,000
162	旅費交通費			65,000	65,000
163	消耗品費			10,000	10,000
164	印刷製本費			100,000	100,000
165	賃借料			300,000	300,000
166	諸謝金			250,000	250,000
167	支払手数料			10,000	10,000
168	雑費			30,000	30,000
169	総務委員会　人事委員会	117,880	630,000	570,000	▲ 60,000
170	会議費	12,900	30,000	20,000	▲ 10,000
171	旅費交通費	104,980	600,000	550,000	▲ 50,000
172	財務委員会　年会のあり方委員会	495,963	860,000	1,630,000	770,000
173	会議費	16,683	30,000	30,000	–
174	旅費交通費	479,280	830,000	1,600,000	770,000
175	理事会・総会・監査・選管　関係費	4,847,213	6,150,000	7,710,000	1,560,000
176	会議費	242,396	350,000	500,000	150,000
177	旅費交通費	3,933,990	5,400,000	6,490,000	1,090,000
178	通信運搬費	100,318		120,000	120,000
179	消耗什器備品費	179,280			–
180	消耗品費	24,569			–
181	賃借料	237,060		300,000	300,000
182	委託費	129,600	400,000	300,000	▲ 100,000
183	事務局	46,875,245	58,016,000	61,204,000	3,188,000
184	給料手当	11,344,367	18,525,000	22,040,000	3,515,000
185	臨時雇用賃金	–	–	2,300,000	2,300,000
186	福利厚生費	2,058,909	3,652,000	3,722,000	70,000
187	退職金引当費			320,000	320,000
188	会議費	29,160	100,000	100,000	–
189	旅費交通費	565,420	650,000	950,000	300,000
190	通信運搬費	1,444,752	1,800,000	1,600,000	▲ 200,000
191	消耗什器備品費	1,583,144	1,512,000	1,650,000	138,000
192	消耗品費	555,499	1,240,000	1,500,000	260,000
193	図書購入費	1,182	10,000	10,000	–
194	光熱水料費	617,391	650,000	650,000	–
195	賃借料	14,504,640	15,710,000	15,710,000	–
196	租税公課	89,570	98,000	100,000	2,000
197	支払寄付金	50,000	50,000	50,000	–
198	委託費	9,067,602	5,230,000	5,220,000	▲ 10,000
199	渉外費	20,000	200,000	200,000	–
200	団体年会費	373,640	372,000	375,000	3,000
201	支払手数料	4,385,949	4,407,000	4,447,000	40,000
202	雑費	184,020	110,000	260,000	150,000
203	予備費		3,700,000		▲ 3,700,000
204	費用合計	286,026,639	303,691,200	325,013,188	21,321,988
205	経常増減額	34,583,962	2,795,500	84,407	▲ 2,711,093
	固定資産取得等支出				
	什器備品				
	ソフトウェア				
	その他				

収支予算書（損益計算ベース）

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

（単位：円）

	科　目	事業会計	法人会計	合計
	Ⅰ　一般正味財産増減の部			
	1．経常増減の部			
	（1）経常収益			
1	受取会費	54,380,000	53,700,000	108,080,000
2	正会員受取会費	53,200,000	53,200,000	106,400,000
3	学生会員受取会費	500,000	500,000	1,000,000
4	賛助会員受取会費	680,000		680,000
5	事業収益	148,069,000		148,069,000
6	受取参加料	130,191,000		130,191,000
7	受取審査認定指定料	13,878,000		13,878,000
8	受取受託料	4,000,000		4,000,000
9	受取補助金等	500,000		500,000
10	受取民間助成金	500,000		500,000
11	受取負担金	53,204,595		53,204,595
12	受取負担金	53,204,595		53,204,595
13	受取寄付金	9,500,000		9,500,000
14	受取寄付金	9,500,000		9,500,000
15	雑収益	5,744,000		5,744,000
16	受取利息	43,000		43,000
17	受取広告料	5,536,000		5,536,000
18	雑収益	165,000		165,000
19	経常収益計	271,397,595	53,700,000	325,097,595
	（2）経常費用			
20	事業費	299,735,824		299,735,824
21	給料手当	16,838,560		16,838,560
22	臨時雇賃金	1,757,200		1,757,200
23	退職給付費用	244,480		244,480
24	福利厚生費	2,843,608		2,843,608
25	会議費	12,230,740		12,230,740
26	旅費交通費	31,614,200		31,614,200
27	通信運搬費	14,850,900		14,850,900
28	減価償却費	298,400		298,400
29	消耗什器備品費	12,474,528		12,474,528
30	消耗品費	6,274,550		6,274,550
31	印刷製本費	42,153,100		42,153,100
32	図書購入費	117,640		117,640
33	光熱水料費	484,900		484,900
34	賃借料	79,015,858		79,015,858
35	諸謝金	11,718,896		11,718,896
36	租税公課	5,084,166		5,084,166
37	支払広告料	822,000		822,000
38	支払負担金	1,000,000		1,000,000
40	委託費	46,257,750		46,257,750
42	支払手数料	6,899,708		6,899,708
43	雑費	6,754,640		6,754,640
44	管理費		25,677,364	25,677,364
46	給料手当		5,201,440	5,201,440
47	臨時雇賃金		542,800	542,800
48	退職給付費用		75,520	75,520
49	福利厚生費		878,392	878,392
50	会議費		558,760	558,760
51	旅費交通費		7,661,800	7,661,800
52	通信運搬費		497,600	497,600
53	減価償却費		101,600	101,600
54	消耗什器備品費		389,400	389,400
55	消耗品費		354,000	354,000
56	印刷製本費		210,000	210,000
57	図書購入費		2,360	2,360
58	光熱水料費		165,100	165,100
59	賃借料		4,290,340	4,290,340
61	租税公課		100,000	100,000
64	支払寄付金		50,000	50,000
65	委託費		2,912,400	2,912,400
66	渉外費		200,000	200,000
67	団体年会費		375,000	375,000
68	支払手数料		1,049,492	1,049,492
69	雑費		61,360	61,360
70	経常費用計	299,735,824	25,677,364	325,413,188
71	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 28,338,229	28,022,636	△ 315,593
76	当期経常増減額	△ 28,338,229	28,022,636	△ 315,593
77	2．経常外増減の部			
86	当期一般正味財産増減額	△ 28,338,229	28,022,636	△ 315,593
87	一般正味財産期首残高			
88	一般正味財産期末残高			
96	Ⅲ　正味財産期末残高			

協議事項　第３号議案

名誉会員の委嘱

名誉会員推薦候補者

（五十音順）

１．乾 賢一　氏

前京都薬科大学 学長
功績賞受賞年：平成 22 年

２．内野 克喜　氏

東京薬科大学 常務理事
功績賞受賞年：平成 24 年

３．北田 光一　氏

前日本病院薬剤師会 会長
功績賞受賞年：平成 24 年

４．樋口 駿　氏

第一薬科大学 教授
功績賞受賞年：平成 23 年

上記の４名は、一般社団法人日本医療薬学会「名誉会委員推薦基準内規」第２条及び第３条の推薦基準を満たす。

報告事項

平成 29, 30 年度 代議員選挙公示

平成 28 年 9 月 1 日

一般社団法人日本医療薬学会
正会員　各位

一般社団法人日本医療薬学会
代議員選挙管理委員会
委員長　北村　佳久

平成 29・30 年度代議員の選出について

平素より本学会の運営にご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、第 9 回定時社員総会（平成 29 年 3 月 24 日開催予定）に本学会の第 4 期代議員が任期満了となることに伴い、平成 29・30 年度代議員の選出を行います。

代議員の選出は、選挙による選出（250 名）と推薦による選出（25 名以内）を併用いたします。選挙による代議員の選出は所定の要件を満たす正会員を選挙人とし、投票はインターネットを用いたオンライン投票で行います。また、被選挙人になるには、立候補が必要です。

今回、選出される代議員には、ますます拡大する本学会の役割と事業に対し積極的にご貢献いただくことになります。従いまして、立候補をいただく際には下記の「代議員の職務指針」を十分把握していただき、社員総会への出席（年 2 回程度）、本学会学術活動や委員会活動への参画（年複数回）、学術誌「医療薬学」及び英文誌「JPHCS」への投稿や査読等、本学会の事業へ積極的にご参画いただくとともに、重要案件に対して責任ある判断が求められます。

本学会のさらなる発展のためには、高い志を有する代議員の方々の会への積極的な参加が必要です。つきましては、一般社団法人日本医療薬学会代議員選出規程（平成24年8月9日改正）、並びに公示内容をご検討いただき、正会員の皆様方からの積極的な立候補をお願いいたします。

《代議員の職務指針》

一般社団法人の構成員として学術活動を推進し運営に参画する

例）・社員総会に出席する（年 2 回程度）
・本学会の学術活動に積極的に参画する
・本学会誌「医療薬学」及び英文誌「JPHCS」へ積極的に投稿し査読に参画する
・委員会の委員として積極的に本学会運営に参画する（年複数回）
・本学会の重要案件に対し責任と自覚をもって判断する

平成28年9月1日

一般社団法人日本医療薬学会平成29・30年度代議員選挙の公示

一般社団法人日本医療薬学会
代議員選挙管理委員会

一般社団法人日本医療薬学会代議員選出規程（平成24年8月9日改正）に基づき、平成29・30年度代議員選挙を実施いたします。

記

任　　期：第9回定時社員総会の終結後から第11回定時社員総会の終結時まで
選挙選出代議員数：250名（規程第2条）
選　挙　権　者：平成28年 8月31日現在、本学会の正会員資格を有し会費を完納している者（規程第6条）
被 選 挙 権 者：平成28年 8月31日現在、5会計年度（平成24～28年度）以上連続して本学会の正会員かつ会費を完納しており（規程第7条）、代議員の職務指針を遵守できる者
立候補の方法：立候補届（様式1）及び推薦書（様式3）を学会ホームページ（http://www.jsphcs.jp）からダウンロードし、書類に必要事項を記載の上、事務局（〒150-0002　東京都渋谷区渋谷2-12-15日本薬学会長井記念館7階　日本医療薬学会　代議員選挙管理委員会）宛に郵送すること（ただし、現職の代議員が立候補する場合には推薦書（様式3）は不要）
投 票 の 方 法：インターネットを介したオンライン投票（オンライン投票の手順は後日、学会ホームページに掲示）

タイムスケジュール：

期　日	事　項
平成28年 9月 1日（木）	代議員選挙公示
9月12日（月） ～10月 3日（月）	立候補受付期間（3週間） ・10月 3日(月)必着
10月13日（木） ～10月20日（木）	立候補者名簿の公示期間（1週間） 立候補辞退受付
10月27日（木） ～11月10日（木）	投票受付期間（2週間） （10/27 13時 ～ 11/10 13時まで）
11月28日（月） ～12月5日（月）	代議員選挙結果公示及び異議申立受付期間（1週間）
12月中	代議員選挙当選通知の送付

※ 立候補に関してご提供いただいた個人情報は、本選挙の目的達成のためにのみ用います。

様式１

立　候　補　届

（代議員選挙用）

平成　　年　　月　　日

一般社団法人日本医療薬学会
　代議員選挙管理委員会　御中

ふりがな
氏　　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
生年月日　昭和　　年　　月　　日　生
現 住 所　〒＿＿＿－＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（TEL：　　－　　－　　）

勤 務 先　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
所 在 地　〒＿＿＿－＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（TEL：　　－　　－　　）
Ｅ－ｍａｉｌ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
入　会　年　度：平成＿＿＿＿年度（会員番号：＿＿＿＿＿＿＿）
認定薬剤師登録番号（有する場合のみ）：＿＿＿＿＿＿＿＿
指導薬剤師登録番号（有する場合のみ）：＿＿＿＿＿＿＿＿
所　属　種　別：　病院　大学　薬局　製薬企業　その他
※ 主たる勤務先を選択し丸で囲む（病院・大学・薬局・製薬企業以外はその他を選択）

私は、一般社団法人日本医療薬学会代議員選出規程第８条に基づき、平成 29・30 年度代議員選挙に立候補しますので、所定の書類を添えて届け出ます。

※　代議員選挙立候補者名簿やオンライン投票システム等において、各立候補者の氏名、勤務先、入会年度に基づく会員歴（年）、認定薬剤師、指導薬剤師の有無ならびに所属ブロック（勤務先所在地に基づく）等の情報を選挙人に開示いたします。

様式３

推　薦　書

（代議員選挙用）

平成　　年　　月　　日

一般社団法人日本医療薬学会
　代議員選挙管理委員会　御中

ふりがな
被推薦者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤　務　先 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所　在　地　〒　－　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私達は、一般社団法人日本医療薬学会代議員選出規程に基づき行われる、平成 29・30 年度代議員の候補者として、上記の者が適任と考えますので推薦いたします。

推薦者氏名（２名）

一般社団法人日本医療薬学会 平成 27・28 年度代議員

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

一般社団法人日本医療薬学会 平成 27・28 年度代議員

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

※ １名の代議員が推薦可能な候補者数は、一選挙につき３名以内です。
※ 現職の代議員が代議員選挙に立候補する場合は、推薦書の提出は不要です。

見本

一般社団法人日本医療薬学会代議員選出規程

第１章　総則

（目的）

第１条　本規程は、一般社団法人日本医療薬学会（以下「本会」とする）定款第５条に定める代議員の選出を公正かつ円滑に行うことを目的とする。

（代議員の総数）

第２条　選挙選出代議員は正会員による選挙により選出し、その定数は代議員選挙を公示する年の８月３１日における正会員数に45分の１を乗じて算出された数（端数切り上げ）とする。ただし、選挙選出代議員数の10％（端数切り上げ）を上限として、選挙選出代議員とは別に、選挙選出によらない代議員（以下、推薦代議員）を置くことができる。

（委員会の設置及び構成）

第３条　第１条の目的を達成するため、代議員選挙管理委員会（以下「選挙管理委員会」という）及び代議員推薦委員会（以下「推薦委員会」という）を設置する。

２　選挙管理委員会の委員は、理事会が指名する５名以上の正会員をもって構成し、委員長は互選によって決定する。

３　推薦委員会の構成は理事会が決定する。

４　委員の過半数が出席しなければ委員会を開催することはできない。

（選挙管理委員会の職務）

第４条　選挙管理委員会は代議員選挙の実施及び必要な事務を行い、選挙結果を理事会及び社員総会に報告する。

（推薦委員会の職務）

第５条　推薦委員会は推薦代議員候補者を選出し、結果を理事会及び社員総会に報告する。

第２章　選挙権及び被選挙権

（選挙権及び被選挙権を有する者）

第６条　選挙権を有する者は、代議員選挙を公示する年の８月３１日現在、本会の正会員資格を有し会費を完納している者とする。

第７条　被選挙権を有する者は、代議員選挙を公示する年の８月３１日現在、５会計年度以上連続して本会の正会員であり会費を完納している者とする。

（立候補の届け出）

第８条　代議員選挙に立候補する者は、所定の方法により選挙管理委員会が指定する日までに届け出なければならない。

２　新規に立候補しようとする場合は、現職代議員２名の推薦を得て、所定の立候補届出書を選挙管理委員会に届け出る。ただし、現職の代議員が次期代議員選挙に立候補する場合は推薦人を必要としない。

３　１名の代議員が推薦可能な候補者は、一選挙につき３名以内とする。

第３章　投票

（選挙の方法）

第９条　投票はインターネットを介したオンライン投票システムにより行う。

２　選挙管理委員会は立候補者の資格を確認したのち、①候補者氏名、②勤務先、③本会の役員の別、④前回代議員の別、⑤本会指導薬剤師・認定薬剤師の別、⑥入会年度、を記載した立候補者名簿を作成し、投票期間の初日の１４日前までにホームページへ掲載するなどの方法で公示する。

３　選挙管理委員会は立候補者が代議員定数内の場合は、選挙を行うことなく当選人を決定することができる。

（投票の方法）

第１０条　投票は一人５票以内とし、無記名連記で行う。

第４章　開票

（立会人）

第１１条　開票に際して立会人を置く。

２　立会人は、オンライン投票システムの得票数集計結果の確認を行う。

（無効投票）

第１２条　投票の効力は選挙管理委員会が判定する。

第５章　代議員の決定

（選挙選出代議員の決定）

第１３条　選挙選出代議員は、立候補者の中から有効得票数が多い者の順に決定する。

２　有効得票数が同数の立候補者があるときは、本会指導薬剤師取得者、認定薬剤師取得者、会員歴の長い者の順とし、なお同等の場合は抽選により選挙管理委員会がその順位を決定する。

（推薦代議員の選出と決定）

第１４条　推薦委員会は、選挙選出代議員の選出結果を踏まえ、第２条に基づく推薦代議員を選出する。なお、推薦代議員は、正会員の中から選出する。

２　推薦代議員の選出結果は理事会及び社員総会で承認を得る。選挙選出代議員及び推薦代議員を決定した後は、両者を一律に扱い区別しない。

第６章　補則

（細則）

第１５条　定款及び本規程に定めるもののほか、代議員の選出について必要な事項は理事会の決議により別に定める。

附則

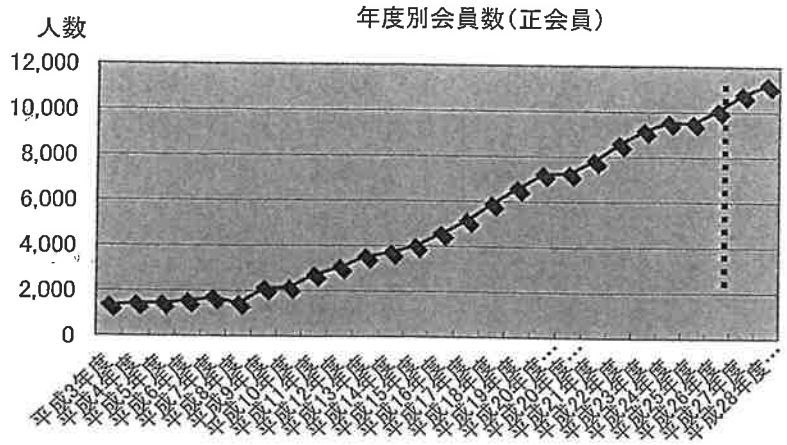
１　本規程は、平成２４年８月９日から施行する。

平成22年10月22日　第5回定例理事会作成
平成24年 6月11日　第3回定例理事会改正
平成24年 8月 9日　第4回定例理事会改正

会員数推移

年　度	正会員数	学生会員	賛助会員	図書館会員	合　計
平成2年度	1, 227	0	0	0	1, 227
平成3年度	1, 350	0	0	0	1, 350
平成4年度	1, 441	0	0	0	1, 441
平成5年度	1, 450	0	0	0	1, 450
平成6年度	1, 548	0	0	0	1, 548
平成7年度	1, 695	0	0	0	1, 695
平成8年度	1, 457	0	2	0	1, 459
平成9年度	2, 096	0	19	0	2, 115
平成10年度	2, 158	0	19	71	2, 248
平成11年度	2, 710	0	21	74	2, 805
平成12年度	3, 054	0	20	70	3, 144
平成13年度	3, 538	22	23	66	3, 649
平成14年度	3, 710	95	21	64	3, 890
平成15年度	4, 001	102	23	62	4, 188
平成16年度	4, 567	133	21	63	4, 784
平成17年度	5, 160	162	22	63	5, 407
平成18年度	5, 896	168	20	59	6, 143
平成19年度	6, 589	185	27	54	6, 855
平成20年度 (1月1日～11月30日)	7, 233	224	27	50	7, 534
平成20年度 (12月1日～31日)	7, 271	225	27	50	7, 573
平成21年度	7, 831	205	27	廃止	8, 063
平成22年度	8, 586	211	26		8, 823
平成23年度	9, 181	220	26		9, 427
平成24年度	9, 557	153	26		9, 736
平成25年度	9, 536	184	22		9, 742
平成26年度	10, 084	215	20		10, 319
平成27年度	10, 794	154	17		10, 965
平成28年度 (8月31日現在)	11, 220	191	16		11, 427

※平成20年12月1日より、一般社団法人格取得



各認定制度の認定数及び年度別の新規認定数

平成28年9月1日 現在

〔1〕 平成28年9月1日時点 の各認定制度の認定者・研修施設の認定数※

	認定薬剤師制度			がん専門薬剤師認定制度			薬物療法専門薬剤師認定制度		
現時点の各認定数	認定薬剤師	指導薬剤師	研修施設	専門薬剤師	指導薬剤師	研修施設	専門薬剤師	指導薬剤師	研修施設
	1453	839	284	482	204	276	24	21	228

〔2〕 各認定制度における年度別《新規》認定者及び研修施設の延べ認定数※

	認定薬剤師制度			がん専門薬剤師認定制度			薬物療法専門薬剤師認定制度		
認定年度	認定薬剤師	指導薬剤師	研修施設	専門薬剤師	指導薬剤師	研修施設	専門薬剤師	指導薬剤師	研修施設
平成11年度	291	192	114						
平成12年度	89	104	32						
平成13年度	63	39	16						
平成14年度	102	113	52						
平成15年度	264	184	60						
平成16年度	59	12	3						
平成17年度	51	25	19						
平成18年度	70	27	26						
平成19年度	57	12	6						
平成20年度	76	19	8						
平成21年度	69	26	7						
平成22年度	91	29	12	145	201	249			
平成23年度	68	19	3	96	8	5			
平成24年度	64	34	11	45	1	1	10		143
平成25年度	60	30	23	92	6	17	7	9	16
平成26年度	74	37	19	75	181	19	5	2	26
平成27年度	86	28	15	60	17	13	3	6	14
平成28年度	101	45	14	審査中	申請受付予定	12	審査中	4	15
延べ認定数	1735	975	440	513	414	316	25	21	214

※ 認定薬剤師制度の指導薬剤師は、「認定者」ではなく本学会からの「委嘱者」である。